



特集 地域で気軽に集まれる サロン・居場所づくり 最新情報 P.6~7

平成25年6月3日 外坪地区ふれあいサロン『ほっこり』

CONTENTS

- 2 ●平成25年度 事業計画
- 5 ●平成25年度 大口町社会福祉協議会予算のあらまし
●理事・監事・評議員の紹介
- 6 ●大口社協サロンレポート
- 7 ●社協出前講座
- 8 ●介護豆知識
- 9 ●大口子育て情報 ゐゅっと
- 10 ●ボランティア情報局
- 12 ●社協トピックス
●ボランティア紹介コーナー
- 13 ●大口絆つなぐネット
- 14 ●ひとり親家庭 夏休み日帰り旅行
●平成25年度 大口町社会福祉協議会の会員募集

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

事務局 月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15
電話 (0587) 94-0060 FAX (0587) 94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ) 2階

ホームページ <http://www.oguchi-shakyo.or.jp>
Eメール chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



平成25年度 事業計画

事業方針

地域において複雑・多様化する生活課題・福祉課題に対し、社会福祉協議会は社会的使命と今日的役割を果たすために必要な活動を着実に推進していくことを最重要課題とし、社会福祉協議会役職員が一体となり、行政機関を始め民生委員等の社会福祉関係団体並びに地縁組織や住民参加団体等との連携・協働を一層強化するとともに地域の社会資源を有効活用しながら具体的な事業の取り組みを図って参ります。

また、「社会の希薄化・無縁化」や「大規模な災害発生」が懸念される今日において、社会福祉協議会が実施する地域福祉等諸事業を町民の方々に広く周知を図り、理解と参加が得られる「顔が見える関係づくり」をすすめる中、地域に密着した社会福祉協議会を目指し以下の諸事業を実施して参ります。

1 社協組織の充実と会員の拡大

「地域福祉」とは、高齢になっても障がいをもつてもすべての人が、いままで大切に生きてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていくことです。この地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会にとって、事業推進においての自主財源確保は大変重要な役割を占めています。

(1) 理事会、評議員会を開催し社協組織においての情報共有を図り、社協組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努める。

(2) 社会福祉協議会地域福祉活動強化計画の作成に努める。

(3) 自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員の確保と拡大を推進し会費の増収に努める。

※会員募集強化期間 7月～8月

- ▼一般会員 5000円
- ▼賛助会員 1,0000円
- ▼法人会員 3,0000円

2 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信していきます。

(1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「町広報」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信していく。

※発行月(年4回)

4月・7月・10月・1月

(2) 公式ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ事業を公表、事業の利用及び参加・協力を働きかけていく。

(3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信する。

(4) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努める。

3 ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体、企業等の機関との連携を図れるようコーディネートしていきます。

(1) 町内児童センター等においてボランティアサークルによる出前講座を行い、活動の紹介や福祉教育の推進

に努める。

(2) 各種養成講座を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図る。

(3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、近隣市町の情報の収集と共有を図りボランティア活動の拡充に努める。

(4) 「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載し、情報を発信する。

(5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成する。

(6) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての活動を支援する。

(7) ボランティア保険の加入及び事故時等の事務手続きを行う。

(8) 町内企業と連携を図り協働事業を行う。

(9) ボランティア派遣依頼の調整を行う。

(10) 地域防災の一端(ボランティア対策部)を担う社協として、大規模災害に備え関連団体等との情報共有と連携強化に努める。

4 児童福祉



次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施するこ

とにより、命の大切さや「ともに生きる力を育みながら、福祉の課題に気づき、地域社会とのかかわり・交流の中から、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進していきます。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施する。

(2) 子育て支援サークルに助成する。

(3) おもちゃ病院「おおくち」の活動を支援する。

(4) 視覚障がいのある子育て中の保護者に対し、検診等の情報を点訳・音訳情報提供を行う。

(5) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施する。

(6) 民生委員・児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時のお祝い品をプレゼントする。

(7) 子育てサロン「まむ*まむ」活動の支援を行う。

5 高齢者福祉



高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開していきます。さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めていきます。

(1) 民生委員・児童委員、ボランティア

アの協力で80歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配布事業を実施する。

(2) 町内対象者、施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈る。

(3) 介護者向け情報冊子「介護豆知識」を、対象世帯に配布する。

(4) 行政区での地域見守り支え合いを考える会に参加し、行政、住民とともに見守り体制についての話し合いを支援していく。

(5) 弁護士による相談日を設ける。

(6) 大口町高齢者軽度生活支援事業(ホームヘルパー)を受託する。

(7) 大口町生きがい活動支援通所事業(デイサービス)を受託する。

(8) 大口町はつらつ健康体操事業(いきいき教室)を受託する。

6 障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていこうことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めていきます。

(1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「障がい者スポーツ大会」を開催する。

(2) 重度身体障がい者日帰り事業を開始し、外出の機会を提供する。

(3) 大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援する。

(4) 弁護士による相談日を設ける。

(5) 大口町障がい者等地域生活支援事業(移動支援事業)を受託する。

(6) 精神障がい者を対象とするサロン「フリースペースれんげそう」の運営を支援する。

7 母子父子福祉



ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進していきます。

(1) ひとり親家庭夏休み日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供する。

(2) 母子家庭等に対する就業支援として「就業相談日」を月1回設ける。

(3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努める。

(4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈る。

(5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援する。

8 ふれあいサロン事業

ふれあいサロンとは、ひとり暮らしや閉じこもりがちの高齢者、障がい者、子育て中の親等が、地域住民やボランティアと一緒に、身近な場所で気軽に集まり、ふれあいを通して生きがいくくり、仲間づくりを行う活動です。

ふれあいサロン事業は、サロン立ち

上げの支援や活動費に対する助成を行いつながるよう運営についての相談や支援を行っています。

(1) サロン設立初年度においての備品助成を行う。

(2) サロン開催実績回数(上限24回)に対し助成を行う。

(3) サロンに対する行事保険の加入手続きを行う。

(4) サロン活動に必要な備品の貸出を行う。

(5) サロンのPRや広報等ちらしを作成し活動を支援する。

9 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図ります。支援団体は9団体です。

(1) 身体障害者福祉協会

(2) 心身障害児(者)親の会

(3) 更生保護女性会

(4) 遺族会

(5) 母子寡婦福祉会

(6) 保護司会

(7) しらゆり会大口支部

(8) 尾北地域精神障害者家族会

(9) 尾北地区聴覚障害者福祉協会

10 共同募金事業

共同募金運動への理解・協力を高め

るため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めていきます。

- (1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定しその推進を図る。
- (2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図る。

- (3) 共同募金配分金事業を広くPRをし、協力事業所の拡大と住民の認識を高める。
- (4) 町内店舗、町民体育祭において協力団体による街頭募金を実施する。

- (5) 募金機能付自動販売機を設置し募金活動の普及に努める。
- (6) 災害復興義援金の窓口を設置し募集を行う。

11 貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただく貸付事業を行います。

さらに、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行います。

- (1) 生活福祉資金貸付制度
生活福祉資金調査委員会による審査後、愛知県社会福祉協議会へ申請する。

- 総合支援資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・福祉資金

- (2) 県くらし資金(愛知県社会福祉協議会・原資 200,000円)
- (3) 町くらし資金(大口町社会福祉協議会・原資 2,000,000円)
- (4) 緊急一時貸付等

12 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みことや地域における問題解決のための相談を行います。

- (1) 心配ごと相談所

- ▼第1水曜日・第3水曜日

- (午前10時から午後3時30分)

※相談員は県母子自立支援員、県

女性相談員

- ▼第4水曜日

- (午後1時30分から4時30分)

※高齢者や障がい者についての弁護士による法律相談

護士による法律相談

- (2) 総合福祉相談窓口常設

- (3) 日常生活自立支援事業相談窓口常設

13 貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行います。

- ※目的：地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援

- (1) 車椅子
- (2) 松葉杖

- (3) 福祉車両
- (4) 綿菓子機
- (5) ポップコーン機
- (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)

14 在宅福祉サービス 3事業所の経営

介護保険法や障害者総合支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施し、在宅福祉を支えています。

- (1) 大口社協居宅介護支援事業所

- (介護・介護予防)

- (2) 大口社協訪問介護事業所

- (介護・介護予防・障害者自立支援・独自・委託事業)

- (3) 大口社協デイサービスセンター

- (介護・介護予防・独自・委託事業)

- (4) 毎月経営会議を開催し、経営強化に努める。

- (5) 介護職員への研修会や勉強会を開催し、スキルアップやサービスの質の向上に努める。

15 福祉関連事業

- (1) 福祉事業功労の顕彰や講演会等を開催する。

- (2) 点字投票制度への協力を行う。

- (3) その他社会福祉事業に必要な事業を推進する。

善意だより

社会福祉に役立てて欲しいと、大口町社会福祉協議会にあたたかいご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともにご報告いたします。

順不同(3月2日～6月5日取扱い分)

外坪老人クラブ様	10,000円
ユニー株式会社	
『小さな善意で大きな愛の輪』運動 アピタ大口店様	89,193円
愛銀ライフサークル様	
匿名希望様	100,000円
大口北小学校昭和34年同窓会様	3,000円
ダンスサークル大口様	27,108円
秋田さわやかクラブ様	40,000円
	10,000円



愛銀ライフサークル様からの寄付

平成25年度大口町社会福祉協議会予算のあらまし

予算総額…131,738,000円

【収入】	(単位：円)
会費収入	3,200,000
寄付金収入	800,000
補助金／助成金収入	26,162,000
受託金	8,679,000
貸付事業等収入	1,339,000
共同募金配分金	3,755,000
介護保険事業等収入	44,558,000
支援費等利用料収入	8,763,000
経理区分間繰入金収入	10,834,000
繰越金(前期)	23,378,000
その他	270,000
収入合計	131,738,000

【支出】	(単位：円)
法人運営事業	32,286,000
企画・広報事業	439,000
地域福祉推進事業	847,000
資金貸付事業	2,498,000
心配ごと・総合福祉相談事業	535,000
共同募金配分金事業	5,525,000
ボランティアセンター活動事業	7,127,000
居宅介護等事業	34,752,000
老人デイサービス事業	35,159,000
居宅介護支援事業	12,570,000
支出合計	131,738,000

●理事・監事・評議員の紹介

任期満了に伴い、左記の方々が就任されました。

会長・副会長については、5月28日の理事会において重任されました。

会長 舟橋宣成 副会長 水野清胤

▼理事(15名)

舟橋宣成(民生委員・児童委員)
 社本良子(民生委員・児童委員)

渡辺一己(団体代表)
 長谷川一成(団体代表)

酒井久和(団体代表)
 水野清胤(福祉関係団体代表)

安藤 桂(福祉関係団体代表)
 佐藤 堅三(福祉関係団体代表)

楠 靖男(福祉関係団体代表)
 塩崎 昌敏(福祉関係団体代表)

江口 格(福祉関係団体代表)
 三浦京子(福祉関係団体代表)

長屋 孝成(学識経験者)
 前田 守文(学識経験者)

田中 義郎(学識経験者)
 ▼監事(2名)

服部 光延(知識経験者)
 福富 弘之(知識経験者)

▼評議員(40名)
 暮石 晴光(秋田区)

大森 英男(豊田区)
 丹羽 康行(大屋敷区)

能田 孝(外坪区)

服部 文男(河北区)

吉田 正司(余野区)

松山 文男(上小口区)

酒井 隆夫(中小口区)

武田 静雄(垣田区)

鈴木 進(さつきヶ丘区)

千田 正仁(学校代表)

安藤 道子、岡田照代、井上あつ子、

鈴木 みち子、安藤 美智恵、近藤 陽子、

中村 武夫、長谷川 実、安藤 克枝、

江口 正義、丹羽 純子、池田 良子、

渡邊 すみ子、江口 洋子、五十嵐 進、

鈴木 由美子、増子 静恵

(以上、民生委員・児童委員)

笹山 恵子(人権擁護委員代表)

松岡 景子(保護司会代表)

佐藤 啓子(母子寡婦福祉会代表)

大森 邦代(更生保護女性会代表)

酒井 喜代子(大口さくらメイト代表)

森本 友美(子ども会代表)

熊澤 治夫

(江南オータリークラブ大口代表)

廣瀬 利弘

(丹羽ライオンズクラブ大口代表)

伊藤 寿満子(ボランティア代表)

萩岡 大輝(福祉施設代表)

田中 一輝(福祉施設代表)

安藤 文子(心身障害児(者)親の会)

最新情報!

地域で気軽に集まれる サロン・居場所づくり

サロンの立ち上げ、運営、
保険加入等に関するご相
談は、大口社協へどうぞ。
電話 94-0060

子育てサロン(ママたちの集まる場所)

まむ*まむ

日 時：毎週火曜日
10:00～12:00
場 所：健康文化センター2階
おもちゃ図書館内
参加費：無料

4月2日(火)、子育てサロン『まむ*まむ』がオープン。初日は、
総勢37名の親子が集まりました。

子どもたちは、おもちゃ図書館内にあるたくさんのおもちゃに目
を輝かせて遊び、ママたちは子育て情報の交換。サロンを運営するス
タッフが、絵本の読み聞かせやパネルシアター、歌や手遊びを披露す
ると、親子で楽しむ姿があちこちで見られました。

これまでの開催で、毎週平均10組ほどの親子がサロンに参加。マ
マどうしの新たな交流の場となっています。

サロンの運営は、支援ボランティア「なすび〜ず」が行っています。
「なすび〜ず」には、障がいをもつ子どもを育てた経験のあるスタッ
フや、保育経験のあるスタッフもいます。

親子ならどなたでも安心して楽しめるサロンづくりを心がけてい
ます。ぜひ気軽に遊びに来てください♪



乳幼児を中心にたくさんの子どもたちが参加



ボランティアによる絵本の読み聞かせ



参加者の話を傾聴するスタッフ

傾聴サロン

わらおうかい 笑桜会

日 時：毎月第3火曜日
13:00～15:00
場 所：老人福祉センター
憩い処「さくら屋」内
参加費：100円

5月21日(火)、傾聴サロン『笑桜会』がオープン。16名の参加者
と8名のスタッフが、淹れたてのコーヒーを飲みながら、ゆったりと話
をするひとときを過ごしました。

傾聴とは、相手の存在を認めながら話を受けとめ、話を聴くことによ
って安堵感を感じてもらったり、有意義で楽しい時間を過ごしても
らったりすることです。

誰かと話をしたい方、誰かに聴いて欲しい話のある方、話すこと
で、心がスッキリと軽くなるかもしれません。傾聴ボランティア「だん
ぼ」がお聴きします!『笑桜会』は、お茶飲みだけの方も、どなたでも
大歓迎です。





『いっぷく茶屋』運営スタッフ



大屋敷新田地区ふれあいサロン

いっぷく茶屋

日 時：毎月第1土曜日(7月～)
9:30～11:30
場 所：新田集会場
参加費：100円

4月27日(土)、大屋敷新田地区ふれあいサロン『いっぷく茶屋』がオープン。新田地区の住民、軽費老人ホーム一期一会荘の入居者、支援者やスタッフ、総勢35名が参加しました。

「地域見守り支え合いを考える会」の新田地区メンバーが運営スタッフとなり、一期一会荘を含めた地域の出会いと交流の場をつくり出していこうと、知恵を出し合っています。

新田地区のご近所さん、気軽にお茶をいっぷく、飲みにいらっやいませんか？

外坪地区ふれあいサロン

ほっこり

日 時：毎月第2水曜日
9:00～12:00
場 所：外坪学習等供用利用施設
参加費：100円



『ほっこり』運営スタッフ

平成25年2月に始まった『ほっこり』は、月1回の開催で、外坪地区の住民を中心にこれまで延べ222名が参加(6月12日現在)。

毎回、『ほっこり』は大変なにぎわいです。住民ボランティアの用意するコーヒー等の飲み物とトーストで、気分は喫茶店のモーニング。ご近所さんとの顔合わせやおしゃべりだけでなく、定期的な地域の情報交換や打合せ等の場としても定着してきています。

皆様のお住まいの地域にお伺いします！ 社協出前講座



50名以上の会員が出前講座に参加



会長佐竹氏、会計鈴木氏より寄付受領

5月17日(金)、秋田区の老人クラブ『秋田さわやかクラブ』様からの依頼で、社協が出前講座を行いました。
『秋田さわやかクラブ』様は、社会貢献として大口社協にご寄付をいただいています。そのご縁から、もっと社協についてよく知りたいとのことご要望をいただきました。
当日は、社協職員2名が秋田学習等共同利用施設(学共)へお伺いし、映像を使った出前講座を行いました。
まず、社協について皆様がどれくらいご存知か、クイズを実施。その後、社協の成り立ちや取り組んでいる地域福祉活動を紹介しました。
出前講座をとおして、「社協って、なんだかいろいろなことをやっているらしい！」ということを広く町民の皆様を知っていただき、地域のつながりづくりを積極的に行っていきたいと考えています。



介護ストレス度を チェックしてみましょう

家族の介護が実はいちばん難しい

育児なら子供の成長とともに、かかる世話が変化して、いずれは楽になるということがわかっています。また、子供の成長という楽しみもあります。一方、介護には目標とするゴールはありません。

介護生活によって介助する人が抱えるさまざまな不調には、頭痛や肩こり、腰痛や便秘、疲れやすい、睡眠不足など肉体的不調のほかに、イライラや不安感、憂うつなど、精神的な不調も多く見られます。毎日繰り返されることなので、自分ではそれがストレスなのか、わからなくなってしまうこともあります。

そこで、日々の生活を振り返ってみて、ストレスがたまっているかどうか、自分のストレス度をチェックしてみましょう。

CHECK!! (✓を入れて下さい)

- いつまで介護すればいいのか、先が不安
- 主にひとりで介護をしている
- 気づくと、いつもイライラしている
- 介護の悩みを聞いてくれる人がまわりにいない
- すべてを投げ出して、逃げ出したいことがある
- もっと頑張らないといけないと思うが、思うようにいかない
- 朝起きるのがつらい
- 頭痛や肩こり、腰痛があつてつらい
- 食欲がなく、何もやる気が起きない
- 介護サービスを受けていない



- ✓ 8～10個の人・・・かなりストレスがたまった状態で「介護うつ」一歩手前です。早急に介護環境を変える必要があります。
- ✓ 5～17個の人・・・かなり疲れています。ストレスがたまってきているので、介護サービス等を利用して、自分の時間をつくるよう心がけて下さい。
- ✓ 0～14個の人・・・ストレスがないわけではないですが、解消法を心得ています。時々ストレス度をチェックして、今の状態をキープして下さい。

介護生活による精神的・肉体的に不調を感じることはありませんか？一人で抱え込まずに、デイサービスやショートステイなどを利用して、気分転換をはかりましょう。

福辺流 力を引き出す！U-CANの介護術大百科より



【編集】 特定非営利活動法人「まみーぽけっと」
 【HP】 http://www.geocities.jp/mammy_pocket/newpage1.htm



はぐみんカード

18歳未満の子どものいる家庭と妊娠中の方に配布しています。協賛店舗や施設である「はぐみん優待ショップ」でカードを提示することにより、商品の割引やサービスなどの特典を受けられます。愛知県のほか、岐阜県三重県でも利用できます。(12,000ヶ所以上)

<大口町のはぐみん優待ショップ 一覧表>

店舗・施設の名称	所在地	割引等の特典内容
オゼキ制服	下小口七丁目 24-1	スタンプカード 1,000 円プラス 制服上下ご購入の方5%割引(学生服のみ対象)期間限定
学生服イトウ	アピタ大口店内	小学校体操服5%OFF
アピタ大口店	丸二丁目 36	毎月第1日曜日に。直営子どもベビー売り場の衣類、雑貨(帽子等)をレジにて5%引き(他の割引との併用はできません)
公文式大口北教室 余野教室 大口南教室	小口字城屋敷 141 余野六丁目 462 ファミール大福寺 101 御供所一丁目 191	定期的を実施している、歌と読み聞かせを通じて親子の絆づくりを応援する「こそだて ちえぶくろ」にご参加いただけます また KUMON 発行の読み聞かせに役立つガイドブックなどをプレゼントします
ラボ・パーティ大口教室	大御堂一丁目 206	子育て応援冊子プレゼント
吉野家大口店	新宮二丁目 168	第3日曜日、店内でのお食事の際、お子様にコースローを1個無料サービス
ロッテリア・アピタ大口	アピタ大口店内2F	エビバーガーを50円引きにて提供
V-drug 大口店	余野三丁目 10	毎週月曜日、レジにてカードを提示された方に、ベビー用品5%割引
愛知北農業協同組合 大口支店	丸二丁目 13	子育て応援定期積金「ファミリー積金(ほほえみ)」 ・期間: 1年、2年、3年、4年、5年 ・払込方法: 口座振替払い ・掛込金額: 月 1,000 円以上 ・給付契約金: 20 万円以上 《適用利回り》①店頭表示利回り+年0.1%上乗せ ②「児童手当」を当 JA で受給している方には、さらに店頭表示利回り+年0.1%上乗せ ③扶養されている18歳未満のお子様2人以上の方には、さらに店頭表示利回り+年0.05%上乗せ
ひつまぶし備長本店	下小口五丁目 176-1	お会計より5%OFF(割引上限5,000円) *他のサービスとの併用不可
不二家大口町店	余野三丁目 103	1,000 円お買い上げごとに50円引き ただし、その他セール、割引、クーポンとの併用はできません

対象の方には「福祉こども課」で配布しています。お子さんの身分を証明できるもの(保険証など)、妊娠中の方は母子手帳を持参してください。





ボランティア情報局

点訳 ボランティア養成講座

技能を学ぶ=自分にプラス + 社会にプラス

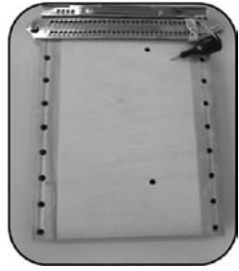
6月3日(月)から8回(6月、7月の毎週月曜日、13:30~15:30)、点訳フレンドさん協力のもと、名古屋盲人情報文化センターから山城順子先生をお招きし、点訳ボランティア養成講座が開かれています。

「点訳は、点字を打つことがメインのように思われていますが、実際は、点字にする前の段階がとても重要です。言葉を正しく読み、その意味を理解したうえで点字に変換します。点訳をしていると、いかに日本語が難しいかがよくわかります。当然、自分の勉強にもなります。」と、山城先生。



山城先生

「女王」って正しく読めますか?



点字板(てんじばん)

受講者はこの点字板を持ち帰り自宅で練習!



2時間しっかり集中!



第1回目の感想と受講動機などを聴いてみました。

ボランティアに参加してみたくて、この講座の受講を決めました。

点字は打つだけだと思っていたけど、奥が深くて、思ったより頭を使うことがわかりました。



以前から点字に興味があり、前回の講座も参加したが、いろいろな事情で最後まで続けられなかったので、今回は再挑戦のつもりで参加しました。



ボランティア出前講座

☆今年も みなさんのところへおじゃまして～す☆

昨年8月、南児童センターで、介護ボランティアドリームさんによる「出張ボランティア」がおこなわれました。初の取り組みにもかかわらず、たくさんの参加があり、とても好評だったので、今年は、各児童センターでおこなうことになりました。



ボランティア出前講座の目的と参加対象は～？

目的は、ボランティアが出前講座を行い、簡単で楽しい体験をとおしてボランティア活動に興味をもってもらうこと。

参加対象は、夏休み期間に児童センターへ来所する児童のほか、地域住民どなたでも OK。

～ボランティア連絡協議会～

南児童センター

8/28 (水) 13:30～

大口おもちゃ図書館 さくら

内容：いろいろなおもちゃの
遊び方を体験しよう！

北児童センター

7/25 (木) 10:00～

大口町手話サークル コスモス

内容：手話で遊ぼう！

西児童センター

8/19 (月) 13:30～

高齢者疑似体験 うさぎとかめ

内容：お年寄りの
体験をしよう！



昨年、参加した小学生は、「来年もあったら、こういうのに参加したいですか？」との問いかけに、ほとんどの子が「はい」と、手をあげました。その子たちに、今年も会えるといいなあ……。出前講座は、ボランティア活動に、興味を持ってもらうことが目的ですが、それと同じくらい、参加者との心の交流もできたらいいと考えています。そんな思いを胸に、今年もみなさんのところにてかけます～。

■編集後記■ 取材・作成 / 編集ボランティア oz

富士山が世界遺産に登録されるというニュースを聞いて、今年の夏は今まで以上に沢山の人が訪れる事だろうと思いつつ、以前に登った富士山を思い出しました。真夜中だと言うのに足場が悪く急な場所では、前の人に登るのを立ち止まって待たなくてはいけないほど多くの人が頂上を目指します。登るにつれ酸素も薄くなり息苦しくなったり、頭痛がしたり、とそれでも登って見た朝日の素晴らしかったこと、その景色をまた見たくて翌年の夏も富士山に登ってしまいました。あれから20数年「久しぶりに富士山に登ろうかな」と言った私に、すかさず子どもが「救助隊のお世話にならないでよ」と、確かに体力もなくなり、足も弱ってきている、まずは足を鍛えて近くの尾張富士から始めてみなくては。



見えない障がいを理解する福祉教室 SHIPおおぐちキャラバン隊



講師のキャラバン隊スタッフ



「できないこと」を疑似体験する生徒



1分間にいくつの点字を打てるかな？



「先生読んでください！」

5月20日(月)～22日(水)の3日間、大口中学校1年生7クラスの生徒を対象として、SHIPおおぐちキャラバン隊による福祉教室が開催されました。

知的障がい・発達障がいの人は、見ただけではどんな障がいがあるかわからない場合があります。

その人の行動や感じ方の疑似体験をしたり、特性やかかり方のコツを知ったりすることで、「目に見えない障がい」を理解してもらおう、というのがキャラバン隊の福祉教室のねらいです。

生徒たちは言葉がうまく聞き取れない・理解できない、思うように早く作業ができない、それなのに、せかさたり励まされたりする体験をします。そこで感じる「嫌になる、くやしい」といった気持ちが、障がいのある人も同じように感じていることを知ります。

また、障がいのある子どもを持つキャラバン隊スタッフの「親の思い」や物語を聴くことで、お互いを知り、違いを認め合いながらともに生きる大切さを学びます。

点字ってなあに？ 点字教室

視覚障がいの先生とボランティア『点訳フレンド』

5月23日(木)大口西小学校6年生、6月20日(木)大口南小学校4年生を対象として、点字教室が開催されました。

まずは、点字を使って生活している講師の先生から、点字の歴史や書き方・ルールを説明。そして、点訳ボランティアの手助けを受け、実際に点字を打っていきます。できた文章を先生に読んでもらい、子どもたちは大喜び。点字の1分間速打ち競争では、みんな真剣な表情。先生への質問コーナーもあり、視覚障がいをもつ人の生活や点字が身近に感じられる授業になるよう工夫されています。

大口おもちゃ図書館さくら

23年間の活動と感謝状

大口おもちゃ図書館さくらは、平成2年に活動を開始した、大口社協ボランティアセンターの中でも歴史ある団体。全国にあるおもちゃ図書館と同様に、障がいや病気の有無に関わらず、すべての子どもが絵本やおもちゃ遊びをとおして成長する手助けをするボランティア活動を行っています。

長年の活動が評価され、20年目には日本おもちゃ図書館財団より表彰状が授与されました。

また、代表の松山氏が経験を活かし、海外へのおもちゃ寄贈や教育支援を行ってきたことに対し、タンザニア連合共和国より感謝状が贈られました。

日時：毎月第2土曜日・第3木曜日
10:00～15:00
場所：健康文化センター2階おもちゃ図書館
参加費：無料



タンザニアから贈られた感謝状
『おもちゃ図書館さくら』
代表 松山章恵氏

大口絆つなぐネット

「忘れない」復興支援の写真展

東日本大震災の発生から2年を迎えた、平成25年3月11日。日本各地では、追悼と復興支援に関わるさまざまな行事が行われました。

大口社協では、3月8日から4月30日まで、健康文化センター1階のギャラリーにおいて、「復興の狼煙」ポスターと『大口絆つなぐネット』が行った活動の記録写真を展示しました。

大口社協は、平成23年6月以降、『大口絆つなぐネット』の名のもと、町民の皆様やボランティア、行政、団体、企業等と協力して、東日本大震災復興支援事業を展開してきました。2年目



陸前高田市「奇跡の一本松」を遠目に見る



「遠野の友人」石関氏と社協職員

の節目を迎え、これまでの活動を総括し、町民の皆様にも広く知っていただくために展示を企画しました。

「忘れない」東日本大震災から2年」と題したこの写真展は、被災者の方々や、ともに復興支援に取り組む仲間たちへの、私たち大口社協の新たな誓いでもあります。

今を生きている私たちには震災を語り継ぐ責務がある。震災を決して風化させないこと、どんなかたちであれ復興支援を続けていくこと。

震災を忘れない。東北の人を忘れない。それが、私たちにできること。

被災地に植樹した桜のその後

平成24年3月、大口社協は東日本大震災復興支援事業第3弾として、町内の小学生から高校生までの子どもたち24名を引率し、岩手県大槌町の仮設住宅隣接地『まごころの郷』に、枝垂れ桜の木を植樹しました。

『大口絆つなぐネット』の復興支援活動の証であり象徴でもある桜の木。1年後の今、どうなっているのでしょうか。平成25年4月20日、社協職員が休日を利用して大槌町へ行き、桜の木の手入れを行いました。

当日は春には珍しい寒波により、小雪まじりの天気。桜の花はまだ開花していませんでしたが、しっかりとつぼみがついていました。

この先、東北の厳しい風雪に耐え、春には花を咲かせ、被災地を元気にし

て欲しい。そんな願いを込めて、土を盛り、添え木を結わえ付け、丈夫な看板も取り付けました。

仮設住宅の被災者の方より、「東北地方では、枝垂れ桜は珍しい。花が咲くのを楽しみに待っている」とのお声をいただきました。

復興支援に取り組む仲間との絆

被災地の復興支援にともに取り組み、大口町とのつながりができた岩手県遠野市綾織地区。仲間は互いに行き来し、2年たった今でも交流は続いています。

4月21日、社協職員が遠野市でお世話になった友人宅を訪問。

これからもつながっていく仲間と絆。『大口絆つなぐネット』の地道な復興支援活動は、続きます。

ひとり親家庭 夏休み日帰り旅行

参加者
募集



夏休みの1日を親子で楽しんでいただけるよう、日帰り旅行を計画しました。
今年の夏は、ユニバーサルスタジオジャパン!親子でたっぷり遊んで、大切な夏休みの思い出づくりをしませんか?

【日 時】 8月3日(土曜日)※6時45分出発
【集合場所】 大口市役場南側駐車場
【行き先】 大阪市 ユニバーサルスタジオジャパン
【参加費】 大人(中学生以上) 4,000円
小人(4歳以上~小学生) 2,000円

【参加費に含まれるもの】
往復バス代、バス旅行傷害保険、
ユニバーサルスタジオジャパンパスポート
※食事代は含まれません

【要 件】 町内在住のひとり親家庭で、子どもさんの年齢は18歳以下

【定 員】 45名(定員になり次第締め切ります)

【申 込】 7月8日(月)午前9時から
※来所または電話等でお申込ください

【申込先】 社会福祉協議会

電話 94-0060



平成25年度 大口市社会福祉協議会の会員募集

Q 社協会員って何?

A 社会福祉協議会の事業にご賛同いただき、年間の会費を納めていただいた方が、社協会員となります。

一般会員会費(500円)・賛助会員会費(1,000円)は、7月から8月にかけて、各行政区の区長さんを通じて町民の皆様にご協力をお願いしてまいります。法人会員会費(3,000円)は、町内企業様にご協力をお願いしてまいります。

Q 会費は何に使われているの?

A 社協が実施する各種福祉事業の貴重な財源となります。

社協では、高齢者・障がい児者・ひとり親家庭のための福祉事業、ボランティア・地域住民の皆様の福祉活動を支援するための事業等を行っており、その経費に充てられます。

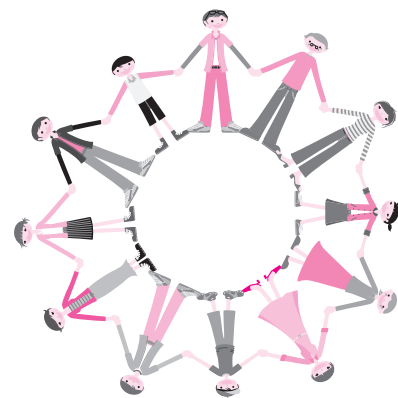
この広報誌にも、会費が活用されています。

平成24年度の会員加入実績		
種 別	加入数	会 費 額
一般会員・賛助会員	5,126件	2,622,000円
法人会員	82件	558,000円
その他(個人・職域など)		4,450円
合 計		3,184,450円

毎年7月・8月は 社協会員募集の強化期間

本会の事業趣旨にご理解を賜り、会員にご加入いただきますようお願い申し上げます。

社会福祉法人大口市社会福祉協議会
会長 舟橋 宣成



町内の全世帯のうち、**67%**
が社協会員です!